

2017年度(平成29年度)工業用水道事業の決算見込みの概要

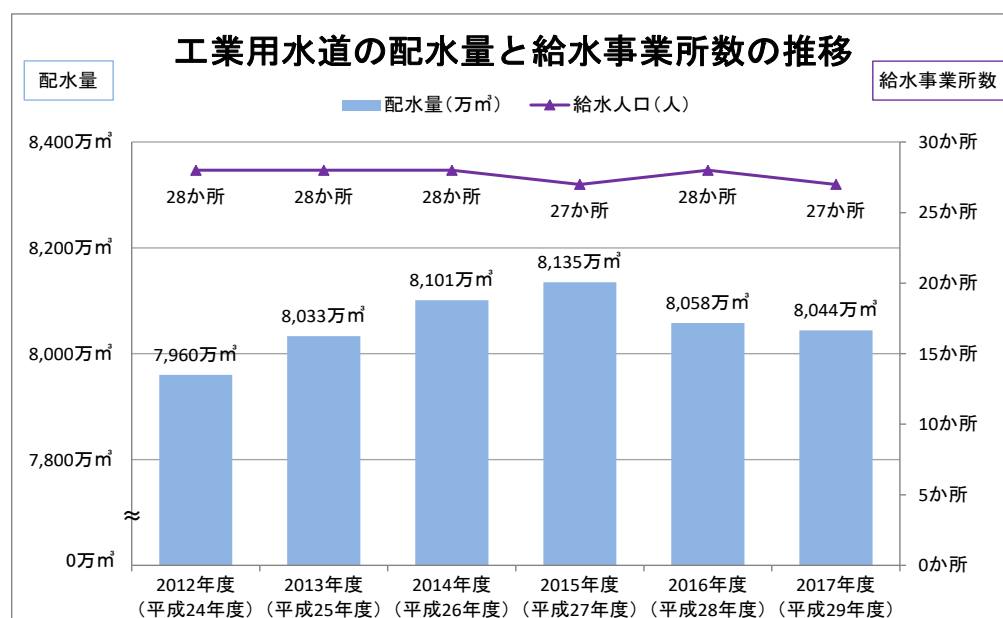
2017年度(平成29年度)工業用水道事業の決算見込みの概要をお知らせします。

工業用水道事業

1 業務状況

工業用水道事業の業務状況は次のとおりです。

事 項	2017年度 (平成29年度)	2016年度 (平成28年度)	増 減
給 水 事 業 所	27 か所	28 か所	△ 1 か所
配 水 量	80,439,260 m ³ /年	80,584,874 m ³ /年	△ 145,614 m ³ /年
一 日 平 均 配 水 量	220,382 m ³ /日	220,780 m ³ /日	△ 398 m ³ /日



2 建設改良事業の概況

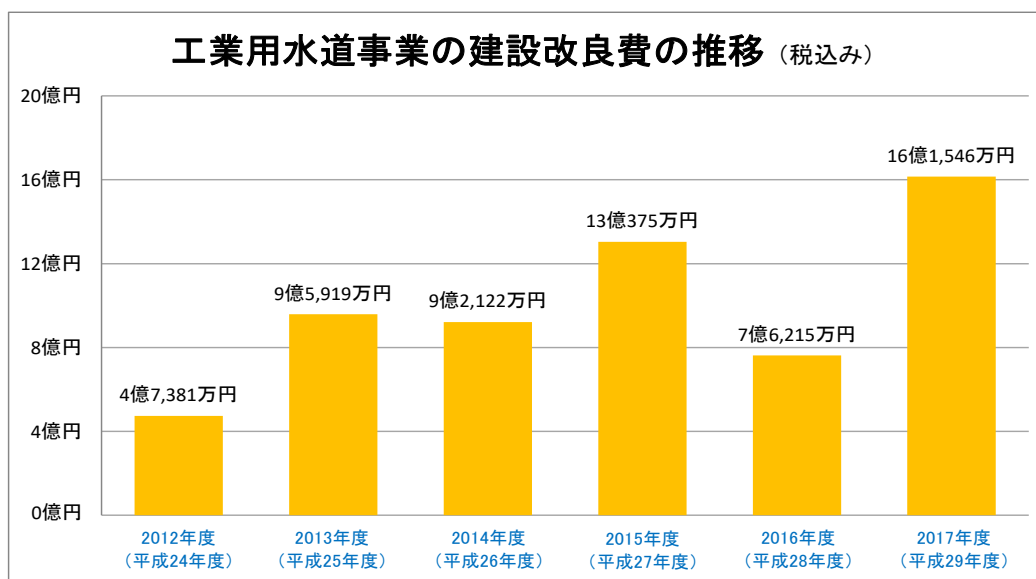
工業用水の安定した供給の確保のため、
2017年度(平成29年度)に実施した主な建設改良事業は次のとおりです。

○工業用水道第二期改築事業【6億8,244万円】

- ・箕島浄水場送水ポンプ吸込管布設工事
- ・配水管布設工事 ほか

○配水管及び施設改良事業【9億2,446万円】

- ・中津原浄水場工水1系北側沈澱池掻寄設備取替工事
- ・中津原浄水場工水1系北側沈澱池傾斜板取替工事 ほか



配水管布設工事



箕島浄水場送水ポンプ吸込管布設工事



中津原浄水場設備取替工事

3 財政状況等

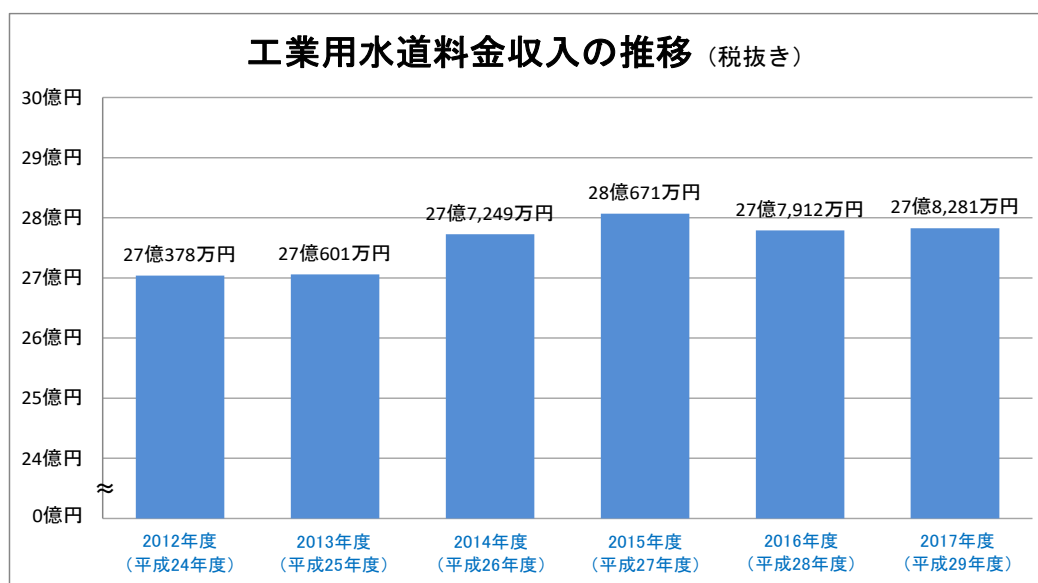
(1) 収益的収支(工業用水道料金の収納や工業用水の供給などに伴い発生する収入と支出)

本年度の経営収支状況について、事業収益は、給水収益が増加したことなどにより、前年度と比較して406万円(0.1%)増の30億5,135万円となりました。

一方、事業費用は、中津原浄水場外運転管理等業務の委託開始に伴う委託料や燃料費調整単価の増による動力費などが増加したものの、資産減耗費や企業債利息などが減少したことにより、前年度と比較して2,067万円(0.9%)減の21億9,333万円となり、差引8億5,802万円の当年度純利益を計上しました。

(税抜き)

事 項	2017年度 (平成29年度)	2016年度 (平成28年度)	増 減
収 益 的 収 入 (うち、工業用水道料金収入)	30億5,135万円 (27億8,281万円)	30億4,729万円 (27億7,912万円)	406万円 (369万円)
収 益 的 支 出	21億9,333万円	22億1,400万円	△2,067万円
差 引	8億5,802万円	8億3,329万円	2,473万円

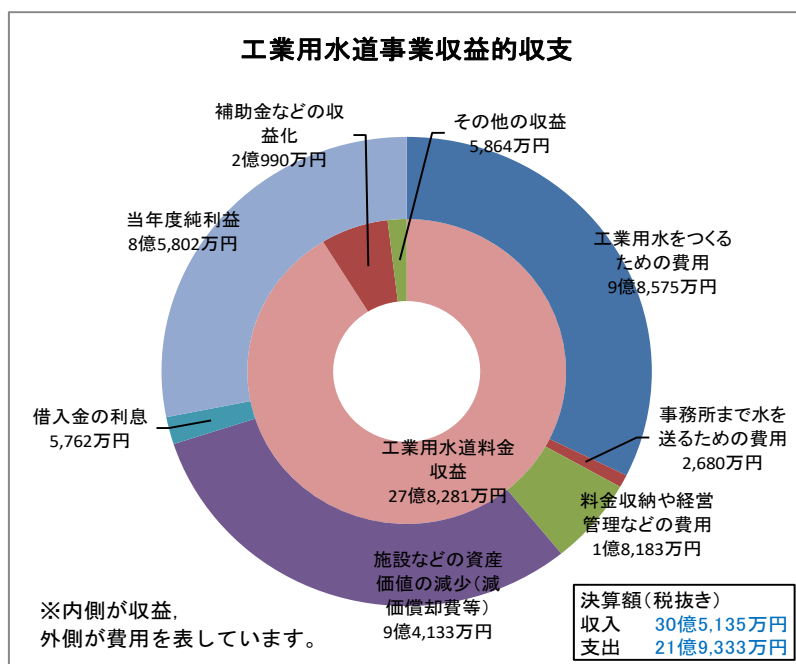


工業用水道事業損益計算書

【2017年(平成29年)4月1日から2018年(平成30年)3月31日まで】

(税抜き)

科 目		決 算 額	円グラフの表示
営業収益	給水収益	27億8,281万円	工業用水道料金収益
	その他営業収益	904万円	その他の収益
営業費用	原水及び浄水費	9億8,575万円	工業用水をつくるための費用
	配水及び給水費	2,680万円	事務所まで水を送るための費用
	業務及び総係費	1億8,183万円	料金収納や経営管理などの費用
	減価償却費	9億3,333万円	施設などの資産価値の減少
	資産減耗費	800万円	
営 業 利 益		6億5,614万円	
営業外収益	受取利息	760万円	その他の収益
	他会計負担金	371万円	
	長期前受金戻入	2億990万円	補助金などの収益化
	雑収益	3,829万円	その他の収益
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	5,762万円	借入金の利息
経 常 利 益		8億5,802万円	
当 年 度 純 利 益		8億5,802万円	



(2) 資本的収支(工業用水道施設の建設・改良などにかかる収入と支出)

資本的収入は、企業債(借入金)などにより、1億2,900万円となりました。

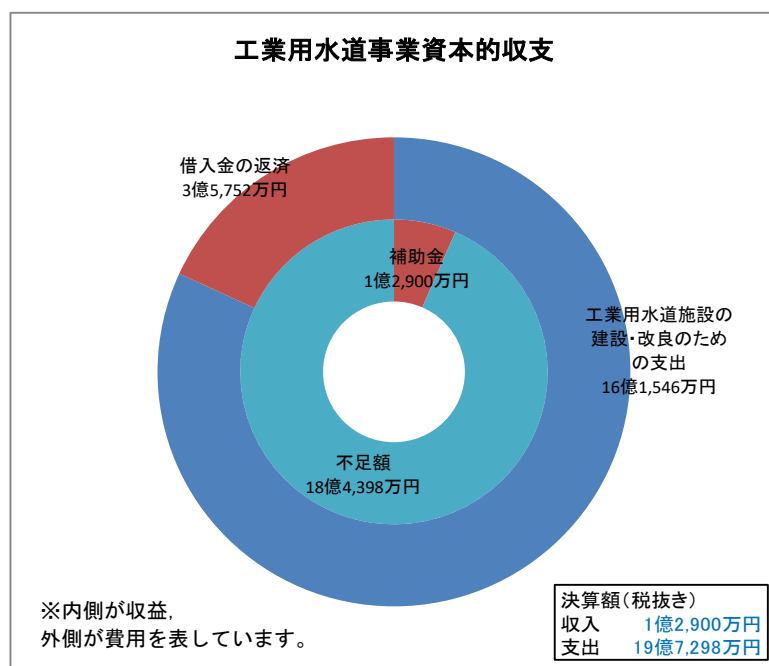
資本的支出は、建設改良費や企業債償還金(借入金の返済金)などにより、19億7,298万円となりました。

資本的収入が資本的支出に不足する額は18億4,398万円となり、これについては、損益勘定留保資金などで補てんしました。

また、資金残高の状況については、前年度と比較して3,999万円増加し、51億6,271万円となりました。

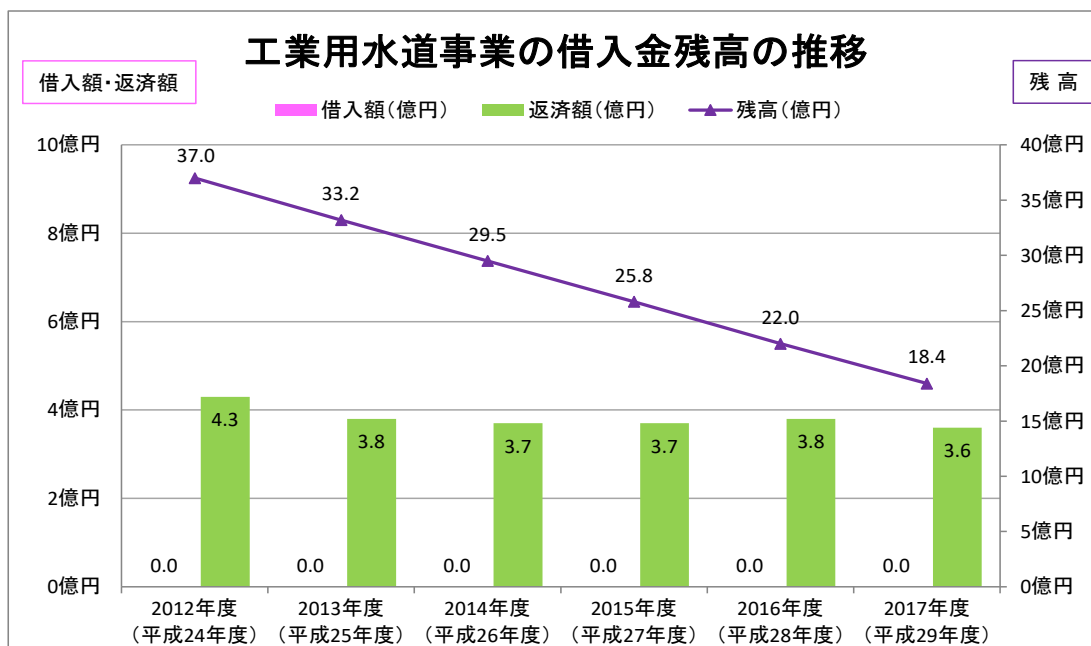
(税込み)

科 目	決 算 額	円 グ ラ フ の 表 示
資本的収入	1億2,900万円	
国庫補助金	1億2,900万円	国からの補助金
資本的支出	19億7,298万円	
建設改良費	16億1,546万円	工業用水道施設の建設・改良のための支出
企業債償還金	3億5,752万円	借入金の返済
差 引	18億4,398万円	不足額



(3) 借入金の状況

借入金の残高は、前年度に比べて3億5,752万円(19.4%)減少し18億4,341万円となりました。



(4)貸借対照表

工業用水道事業の財政状態を示す貸借対照表は次のとおりです。

工業用水道事業貸借対照表

【2018年(平成30年)3月31日】

(税抜き)

資 産 の 部		負 債 の 部	
固定資産	194億2,946万円	固定負債	17億1,654万円
有形固定資産	86億9,334万円	企業債	14億9,835万円
無形固定資産	107億3,442万円	引当金	2億1,819万円
投資その他の資産	170万円	流動負債	6億3,842万円
流動資産	57億9,276万円	企業債	3億4,506万円
現金及び預金	55億1,131万円	未払金	2億7,682万円
未収金	2億8,067万円	引当金	1,568万円
前払費用	69万円	その他流動負債	86万円
その他流動資産	9万円	繰延収益	42億2,561万円
		長期前受金	42億2,561万円
		資 本 の 部	
		資本金	161億1,518万円
		資本金	161億1,518万円
		剰余金	25億2,647万円
		資本剰余金	2億6,136万円
		利益剰余金	22億6,511万円
		(うち当年度純利益)	8億5,802万円
合 計	252億2,222万円	合 計	252億2,222万円

(5)キャッシュ・フロー計算書

工業用水道事業の現金・預金の増減を示したキャッシュ・フロー計算書は次のとおりです。

(税抜き)

項 目	現金・預金の増減
前年度末の現金・預金の残高	56億9,222万円
業務活動によるキャッシュ・フロー (工業用水道料金の収納や工業用水の供給などに伴う現金・預金の収支)	14億9,767万円
投資活動によるキャッシュ・フロー (工業用水道施設の建設・改良などに伴う現金・預金の収支)	△13億2,106万円
財務活動によるキャッシュ・フロー (資金の調達や返済に伴う現金・預金の収支)	△3億5,752万円
当年度末の現金・預金の残高	55億1,131万円